

令和2年5月21日

加茂市立小・中学校児童生徒の保護者 様

加茂市教育委員会教育長
加茂市福祉事務所長

小・中学校における授業の再開について

新緑の候、保護者様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、当市小・中学校の教育活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。さて、政府による緊急事態宣言解除後の国や県の方針を受け、加茂市コロナウイルス対策本部で協議した結果、加茂市教育委員会では、授業の再開について下記のとおりとしましたのでお知らせします。

加茂市内では新たな感染者が発生していない状況ですが、保護者の皆様には、感染症拡大防止の対応へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

記

1 授業の再開について

- (1) 5月25日(月)から学校の授業を通常どおりに行います。
- (2) 換気や消毒を徹底するとともに、教室における「3つの密」を避け、席の間に可能な限り距離を確保するなど、感染予防に最大限配慮した上で授業を行います。
- (3) 新型コロナウイルス感染症に関しては、日々状況が変化しているため、国や県の方針ならびに新型コロナウイルス感染症の感染状況等に大きな変化があった場合には、変更をする場合があります。
- (4) 中学校については、5月末日まで部活動を中止します。6月中は平日のみ実施し、休日(土・日曜日)の部活動を中止します。感染症拡大防止の観点から、当面の間、対外試合等は中止します。

2 児童館の開設について

- (1) 緊急事態としての児童館開設です。5月25日(月)から学校の授業再開後も、引き続き、原則として、「緊急休校中児童館利用登録済み」の小学校児童のみとさせていただきます。
- (2) ご家庭で十分ご相談した上で、やむを得ない事情で児童館利用を考えている場合には、加茂市福祉事務所にご相談ください。

3 感染症対策のポイント

感染源を絶つこと 感染経路を絶つこと 抵抗力を高めること

- (1) 引き続き、体温測定と丁寧な健康観察をお願いします。
- (2) 手洗い・手指消毒や咳エチケットを徹底し、免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事等を心がけるよう、よろしくお願いします。
- (3) 学校生活では、飛沫防止のため、マスクやマスクに代わる物の着用へのご協力をお願いします。
- (4) 不要不急の外出を控えるようお願いします。

裏面もあります

【厚生労働省ホームページより抜粋】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00094.html#yobou

相談・受診の目安

次の症状がある方は下記を目安に

「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。

- 少なくとも以下のいずれかに該当する場合には、すぐに御相談ください。

(これらに該当しない場合の相談も可能です。)

☆ 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合

☆ 重症化しやすい方(※)で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合

(※) 高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方

☆ 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合

(症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。)

- 相談は、帰国者・接触者相談センター(地域により名称が異なることがあります。)の他、地域によっては、医師会や診療所等で相談を受け付けている場合もあるので、ご活用ください。

(お子様をお持ちの方へ)

小児については、小児科医による診察が望ましく、帰国者・接触者相談センターやかかりつけ小児医療機関に電話などで御相談ください。

※なお、この目安は、国民のみなさまが、相談・受診する目安です。これまで通り、検査については医師が個別に判断します。

センターでご相談の結果、新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」をご紹介します。

マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診してください。

【相談後、医療機関にかかるときのお願い】

- 複数の医療機関を受診することにより感染を拡大した例がありますので、複数の医療機関を受診することはお控えください。

- 医療機関を受診する際にはマスクを着用するほか、手洗いや咳エチケット(咳やくしゃみをする際に、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖・肘の内側などを使って、口や鼻をおさえる)の徹底をお願いします。

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける。
- 遊びに行くなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、**症状がなくてもマスク**を着用
- 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度**かけて**水と石けんで丁寧に洗う**(手指消毒薬の使用も可)

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的な生活様式

- まめに**手洗い・手指消毒** 咳エチケットの徹底 こまめに換気
- 身体的距離の確保 「**3密**」の回避(密集、密接、密閉)
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 時差通勤でゆったりと オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン 名刺交換はオンライン 対面での打合せは換気とマスク

